

「スーパー御庭番の達人たち」

有限会社アールシーワークス



【額のある壁】
庇のついた壁面がデザインのアクセントに。窓や壁面の縁取りに使われている小石は、バリから仕入れたもの。ディテールの一つひとつにもこだわりが。



【デッキ】
住まいの内と外をつなぐデッキ部分。壁が高いので隣家の視線も気にならず、木の風合いが暖かさや落ち着きをもたらしてくれます。



【テーブルまわり】
床は防湿の下処理をした上に、淡い色調のタイルを張ってあるので、コケやカビが生えることもなくなりました。アウトドアリビングとして休日のくつろぎに。

【全景】
ジメジメした裏庭がこんなに明るく変身！白を基調に、デッキや柱の焦げ茶とアイアン家具がアクセントになっています。

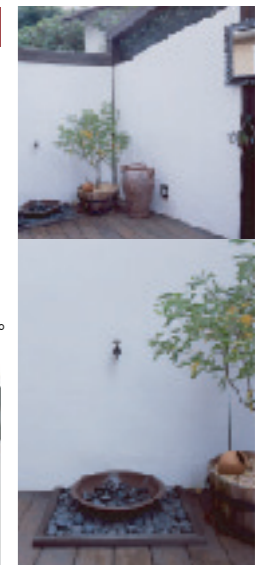


N様邸

ジメジメした裏庭を、明るい南欧風アウトドアリビングに



住まいの裏庭をリフォーム。もともと半分はウッドデッキ、半分は砂利敷きになっていましたが、隣家の石垣と接して日当たりが悪く、じめじめしてコケが生えるような場所でした。お客様からは、「カラッと乾いたスペースにしてほしい」「隣家との間に目隠しを設けて、くつろげる空間にしてほしい」とご要望がありました。そこで、地面にシートを敷き、防湿コンクリートを入れてかさ上げし、湿気が上がってこないようにしっかりと下処理。そして全体を白で統一して日当たりの悪さをカバーし、明るい雰囲気。カラーの基調は白+焦げ茶、アクセントにアイアンの黒。色数を少なくシンプルに仕上げることで、お客様の飾るものが映えるように配慮しています。隣家との境には高い壁を立ち上げて、庭というよりも部屋のようなスペースに。壁にアールをつけることで、空間に奥行きを持たせ、高い壁の圧迫感をやわらげています。床はテラコッタタイル張り、壁はしっくい仕上げで、所要所にバリで買い付けた小石などがあしらわれ、個性的な空間をつくっています。お客様は非常に満足され、第二のリビングとしてくつろいだり、お気に入りの絵画や小物を飾って楽しんでおられます。



キャンピングカー販売のショールーム

開放的なデッキとサンルームで、お客様がしやすい雰囲気に

ショールームの建物内外+外構すべてを設計・施工。オフィス兼用なので、「シャープな感覚に」という注文が。そこで建物は直線的にして白で統一。エントランスはサンルームと木製デッキをあしらって、入りやすい雰囲気に。キャンピングカーは屋外に展示しているので、訪れたお客様が野外で商品を見てまわったり、デッキからショールームに気軽に入れる開放的な空間をつくりました。



【全景】
キャンピングカーのショールーム。シャープなラインと開放的な雰囲気が印象的。手前には商品であるキャンピングカーが置かれたスペースがあり、奥はオフィスになっています。



【サンルーム】
サンルームは「プレオーレ」を採用。ナチュラルな雰囲気、お客様をやさしくいざないます。

「バリの雑貨店」

素材はすべてバリから直送…素朴+モダンな感覚が新鮮

建物から外構まですべてを設計・施工。バリから直輸入した雑貨を扱う店で、バリ風なしつらえの中にもヨーロッパのリゾートのイメージを加味して、より洗練された雰囲気に。道行くお客様の興味を引くために、道路沿いにはバリの伝統的なあずま家であるヤシ葺きの「ガジャボ」を建て、エキゾチックな外観でお店をアピールしています。建物はコンクリートで、表面はコテ荒らし仕上げで表情を出しています。建物や門柱、塀、アプローチの敷石など、あえてアールを使わずすべて直線で構成し、素朴さとモダンが同居する新鮮な空間をつくり上げています。石材や木材、小物など、素材はすべてバリのものを使用。庇にはバナナのロープを使用するなど、ディテールにもこだわっています。



【全景】
バリの小物を扱う雑貨店。ヤシ葺きのあずま家が道路からひときり目立って、店の存在をアピールしています。門や塀などをあえて直線的にしつらえることで、素材にすぎず、モダンな雰囲気を出しています。



【アプローチ】

天然石を敷き詰めたアプローチ。黒い小石は那智黒のように見えますが、フローレンス島でしかとれない珍しいもの。素材はすべてバリのものを使い、ひと味違う質感を出しています。

【入り口】

店のエントランス。石で囲んだ池がつくられ、気分はもう南国。石材と緑のバランスも美しい。

